

早稲田大学 大学院日本語教育研究科 教員募集要項

1. 所属	早稲田大学大学院日本語教育研究科
2. 募集職名	教授、准教授、教授（テニュアトラック）、准教授（テニュアトラック） ※採用された場合にいずれの資格となるかは、教育研究業績と選考過程での評価に基づく総合的な判断により、決定します。
3. 募集人数	1名
4. 専門分野	日本語教育学および関連分野
5. 勤務形態	常勤
6. 採用日	2027年4月1日またはそれ以降のできるだけ早い時期
7. 任期	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員（教授、准教授）として採用の場合： 任期の定めなし ※定年は満70歳 ・テニュアトラック教員（教授（テニュアトラック）、准教授（テニュアトラック））として採用の場合： 3年 <p>※任期満了後、2年を超えない範囲で再任用する場合がある。ただし、テニュアトラック教員としての継続在職期間の合計は5年を超えることができない。</p> <p>※テニュアトラック教員としての再任用および専任教員への身分変更の審査方法については、本学の規程および日本語教育研究科内規による。審査概要の詳細は採用決定後に通知する。</p> <p>※資格にかかわらず2013年4月以降に本学と雇用契約があり、本募集による採用日までの間に原則として半年間以上の雇用契約を締結していない期間がない場合は、継続雇用契約期間に上限がある。そのため、契約期間や再任用の有無・期間について、上記に満たない場合がある。なお、継続雇用契約期間によっては本資格の選考対象に含まれない場合がある。</p>
8. 勤務・待遇等	<p>■勤務時間等 所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制（みなし労働1日8時間）を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。</p> <p>■休日 土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日および大学創立記念日とする。ただし、大学があらかじめ授業、関連業務を実施すると定めた日を除く。</p> <p>■勤務地 原則として、早稲田大学各キャンパス</p> <p>■給与 本学規程による。</p> <p>■社会保険 厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。</p> <p>■諸手当・通勤費</p>

	<p>本学規程による。</p> <p>■退職金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員（教授、准教授）として採用の場合： 本学規程により支給する。 ・テニュアトラック教員（教授（テニュアトラック）、准教授（テニュアトラック）、）として採用の場合： 本学規程により支給しない。ただし、引き続いて専任教員となった場合、専任教員としての退職金計算における在籍期間は、資格変更前のテニュアトラック教員として嘱任した日から起算する。
<p>9. 担当業務</p>	<p>(1) 大学院日本語教育研究科における研究指導、演習、講義、実習等。</p> <p>(2) 日本語教育研究センターにおける外国人留学生対象の日本語科目。</p> <p>(3) 学部学生等対象の日本語教育学関連科目。</p> <p>(4) 本学の日本語教育に関わる業務。</p> <p>(5) その他、大学及び学部・研究科の定める諸業務（研究関連、研究指導、入試関連、教務関連、出張、その他の業務）。</p> <p>(6) 本学が指定するFDプログラムへ参加いただく場合がある。</p>
<p>10. 応募資格</p>	<p>応募時において博士の学位を有する方</p>
<p>11. 応募書類</p>	<p>以下、応募書類のうち、【所定書式】と記載のあるものは次の URL から書式をダウンロードし作成してください。</p> <p>https://waseda.box.com/v/gsjal-resume</p> <p>.....</p> <p>①履歴書および研究業績一覧【所定書式】</p> <p>②抱負（本研究科の専任教員に応募する動機、本研究科および本学にどのような貢献ができるかについて、A4判1枚・1,200字程度で述べてください。）</p> <p>③理論研究科目（2科目以上）のシラバス</p> <p>本研究科のカリキュラムは、「理論研究科目」「実践研究科目」「演習」の3つの柱で構成されています。このうちの「理論研究科目」について、以下の既存設置科目から2科目以上を選択し、それぞれについて1学期分（100分*14週）のシラバスを作成してください。</p> <p>地域日本語教育論、待遇表現論、年少者日本語教育論、文法論、語彙論、音声学、言語文化論、第二言語習得論、教材・教具論、日本語学概論、言語心理学、教育工学論、異文化コミュニケーション教育論、文章・談話論、学習環境デザイン論、日本語教育史、言語教育政策論、量的研究法、質的研究法、外国語教授法、対照言語学、日本語教育評価論、世界の日本語教育、文字・表記論、社会言語学、公共日本語教育学、コースデザイン、言語コーパス論</p> <p>④実践研究科目（1科目以上）の概要</p> <p>「実践研究科目」は、準備やふりかえりなどを行う大学院授業（2単位相当）と学内外で行う日本語教育実践（1単位相当）から成り立っています。その概要がわかる次の2つの資料を作成してください。</p> <p>(1) 大学院授業（2単位相当）の1学期分（100分*14週）のシラバス</p> <p>(2) 日本語教育実践（1単位相当）のシラバスあるいは概要がわかる資料</p>

	<p>日本語教育実践を、学内日本語教育研究センターの日本語科目で実施する場合には、日本語科目の1学期分(100分*14週)のシラバスを作成してください。それ以外で実施する場合には、その概要がわかる資料を作成してください。</p> <p>※シラバス作成の際には、以下のシラバス検索サイトを参照してください。 URL : https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php?pLng=jp</p> <p>⑤著書・論文等のコピー(主要なもの3点) ⑥博士学位記の写しまたは博士学位取得証明書 ⑦身元照会(リファレンスチェック)先リスト【所定書式】</p>
12. 応募方法	<p>以下の申請フォームから提出してください。 申請フォーム URL : https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=evQveBldMvTEIQJjJRhtEA</p> <p>※申請フォームからの提出が完了すると、入力したメールアドレス宛に申請受付のメールが届きます。10分以内にメールが届かない場合には、申請が行われていない可能性がありますので、再度申請してください。</p> <p>④著書・論文等(主要なもの3点)のデータでの提出が難しい場合は、当該書類に限り、郵送での提出を認めます。書留等、追跡可能な手段にて以下の宛先に送付してください。 郵送先：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-21-1 早大西早稲田ビル8F 早稲田大学大学院日本語教育研究科 専任教員募集係 ※封筒に「専任教員応募書類在中」と明記すること。 ※提出物の返却を希望する場合は、返却先を明記したレターパック等を同封すること。 ※郵送書類を除くすべての書類は、必ず申請フォームから提出すること。</p>
13. 応募締切	<p>2025年8月29日(金)15時(日本時間) 郵送書類がある場合は、締切当日17時までにご当研究科事務所必着。 ※締切後の提出は、理由にかかわらず認めません。</p>
14. 選考方法	<p>書類選考の上、面接を行う。 書類選考合格者発表：2025年12月3日(水)にメールにて通知する。 面接審査日：2026年3月14日(土) ※時間、場所、面接内容の詳細は書類選考合格者に通知する。</p>
15. 問合せ先	<p>〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-21-1 早大西早稲田ビル8F 早稲田大学大学院日本語教育研究科 専任教員募集係 E-mail gsjal@list.waseda.jp ※メールにてお問い合わせください。 ※事務取扱時間 平日9:00-17:00</p>

※早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。

以上